

令和6年（2024年）1月15日
第5回滋賀県総合教育会議
資料 1 - 3

高大連携〈先取り履修〉の取組状況 WWL事業に係る滋賀県立大学での特別聴講

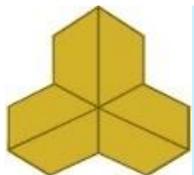
R6.1.15
滋賀県総合教育会議
報告 彦根東高等学校



Contents

先取り履修

- 1 はじまり
- 2 実施要項
- 3 受講生徒
- 4 まとめ



国WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）事業
管理機関：滋賀県教育委員会 拠点校：彦根東高

1 はじまり

◇WWL事業：将来世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成
高校と国内外の大学・企業・国際機関等が協働し、テーマを通じた高校生の
国際会議の開催等の高度な学びを提供する仕組みの形成

常に、新しい
学びに挑戦

①先取り履修

②教科融合授業

③GSコース・GS部設置

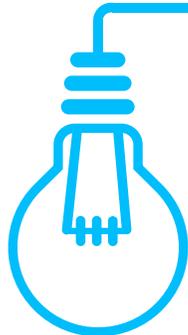
④海外研修・交流 等々



◎生徒同士思いやり
楽しく切磋琢磨



◎彦根東サイエンス国際フォーラム
世界の高校生と国際会議



① 授業期間
前期 4～9月
後期 9～3月

② 1 講座
5～10名
2、3年生

③ 対象生徒
WWL拠点校 連携校 6校
彦根東 膳所・虎姫・守山・水口東・高島

④ オンデマンド配信（PC視聴）
+スクーリング（大学での授業）

⑤ 2単位・90時間
相当の学修が必要

⑥ 評価：試験・レポート
→ 合格or不合格

⑦ 合格→受講大学での
単位として認定



滋賀県立大学での開講講座



年度 時期	開講科目 (学部)	受講→合格
R5 後期	コンピュータとインターネット (工)	6人受講中 水口東・彦根東
R4 後期	電子社会と人間 (工)	5人→5人 高島・彦根東
R4 前期	自然科学入門 (工)	5人→0人 彦根東
R3 後期	地域コミュニケーション論 (人間文化)	6人→6人 水口東・高島・守山・彦根東
R3 前期	SDGsと滋賀のグローバル・ コミュニケーション (人間文化)	12人→11人 虎姫・彦根東

(開講されなかった講座は除いています)

単位認定者のうち、現彦根東高
3年生10人への聞き取り

3 受講生徒

☑ 受講者の志望学部等

電子社会と人間
2人（2年次受講）

- ・工学部情報
- ・工学部応用理工

SDGsと滋賀のグロー
カル・コミュニケーション

8人（1年次受講）

- ・工学部化学生命工
- ・工学部デザイン
- ・薬学部
- ・農学部応用生物科学
- ・農学部栄養科学
- ・情報学部
- ・社会情報学部
- ・総合文系選抜



受講の感想 1



単位認定者10人

◆R4後期：電子社会と人間

- ・電子社会の問題点を考えることができた。映像ではあるが大学の講義の雰囲気がわかった。
- ・大学の研究室や大型機械を見せていただき楽しく学べた。

◆R3前期：SDGsと滋賀のグローバル・コミュニケーション

- ・コロナ禍で対面の講義はなかったが、Society5.0など、これからの社会を見据えた学びができた。
- ・SDGsについてかなりの知識を得ることができた。地域で身近に様々な取組が行われていることもわかった。
- ・大学の先生の講義だけでなく、外部の方の環境活動の話を聞いて、環境問題について幅広い考え方ができるようになった。
- ・大学の講義を入学前に実際に経験できたことはよかった。
- ・教授とのメールのやりとりやレポート提出など、高校とは異なる形態の授業で新鮮さがあった。

☑ 受講の感想 2

- ◇ オンデマンド型の授業（動画視聴）に慣れるのに時間がかかった。（多数）
- ◇ コロナ禍で仕方がないと思うが、長時間の話を一方向的に聞くオンデマンド型は疲労が大きい。
 - ▲ 毎回のレポート課題を書くため、部活動などの前後の予定を鑑みて余裕をもって取り組む必要があった。
 - ▲ 夏休みには高校の課題とレポートとの両立に苦労した。
 - ▲ 動画視聴や課題に取り組むことが大変な時期もあった。

10人の所属部活動	
<運動部>	<文化部>
弓道 3	新聞 2
ソフトテニス 2	囲碁 2
	SS・茶道 1

学校行事など	
<前期>	<後期>
定期考査	定期考査
春季大会	秋季大会
学園祭	



現在受講中の6人（2年生）に聞き取り

3 受講生徒

滋賀県立大学 奥村教授

『コンピュータとインターネット』

- ◇大学の講義をWeb視聴
+ レポート提出課題 15回
- ◇大学でのスクーリング 3回



12月2日（土） 2回目の講義

講義の感想

- ◎ 高校の情報の授業で少し学んだインターネットの歴史やリスクを深く学び知る機会になった。
- ◎ AIを使った画像生成、Googleピクセルの消しゴムマジックなどの技術とその仕組みが面白い。
- ◎ 消しゴムマジックの仕組みは難しいが、一部だけでも理解したい。

課題の取組

- ◇ 週末に講義の動画を見ている。部活動のために時間が足りず、レポート提出が遅れることもあった。それ以外は順調にできている。
- ◇ 日曜日の午後に課題に取り組んでいる。高校のテスト期間は時間を確保できなかった。

高大連携 <先取り履修> 高校生の時間のやりくり



高校授業 月～金



高校での授業・行事・部活動等の教育活動に加えて、大学での特別聴講 <先取り履修>を行うために、各生徒は週末などの時間を有効活用している。



部活動おもいきり



楽しい行事 熱中



プライベート 休息



4 まとめ



滋賀県立大学と連携した特別聴講〈先取り履修〉

高校生の大学教育の先取り履修は、ICTを活用したオンデマンド配信とスクーリングによる参集の併用スケジュールで実施し、令和3～5年度はWWL拠点校と連携校の生徒が取り組み単位認定を受けている。

受講生徒は、必ずしも志望学部の内容でなくても、自分が興味のある分野を深く学びたいとの動機で主体的に参加している。受講に際して、高校の授業や部活動などの教育活動との時間のやりくりをしている。

現状の先取り履修は、滋賀県立大学のみで少数の受講者となっており、高校としては、令和3～5年度の受講状況等を踏まえて、他大学での受講案内、効果的なICT活用等々、今後も工夫する必要がある。